

平成23年12月19日
独立行政法人大学入試センター

資料の提供について

提供資料

平成21年告示高等学校学習指導要領に対応した平成28年度大学入試センター試験からの出題教科・科目等について（中間まとめ）

【概要】

- 平成21年3月に新しい高等学校学習指導要領が告示され、これに対応した平成28年度大学入試センター試験からの出題教科・科目等について、現時点の検討状況を取りまとめ、中間まとめとして公表するものである。
- なお、数学、理科の2教科に関しては、新学習指導要領が1年先行して実施されることから、本年4月にこれらの出題科目について、公表済みである。

この「中間まとめ」については、国立大学協会、公立大学協会、日本私立大学団体連合会等の国公私立大学関係団体、全国高等学校長協会等の高等学校関係団体及び各都道府県教育委員会・知事部局等へ送付し、それらの団体に対し意見を求めた上で、来年春ごろを目途に平成28年度大学入試センター試験からの出題教科・科目等に関し、一定の結論を得る予定としている。

平成 21 年告示高等学校学習指導要領に対応した平成 28 年度
大学入試センター試験からの出題教科・科目等について（中間まとめ）

平成 23 年 12 月 19 日
独立行政法人大学入試センター

平成 21 年 3 月に新しい高等学校学習指導要領（以下、新指導要領という。）が告示され、高等学校等においては、平成 25 年 4 月から新指導要領に基づく学習が学年進行で実施される。

今回の指導要領の改訂は、数学、理科などの一部の教科が他の教科よりも 1 年先行し、平成 24 年 4 月から新指導要領が実施される。このことに対応する必要から、大学入試センターでは平成 27 年度大学入試センター試験からの数学、理科に関し、この 2 教科を出題すること及び各出題教科から選択させる科目を定め本年 4 月に公表した。

一方、平成 25 年 4 月から全面的に実施される新指導要領に関しては、平成 28 年度大学入試センター試験からこれに対応した教科・科目とする必要がある。

このため、大学入試センターでは、平成 21 年 3 月から大学や高等学校の関係者で構成する試験企画委員会、大学入試センター試験等の改善に関する懇談会において、新指導要領に対応した大学入試センター試験の出題教科・科目について、

- (1) 大学入学志願者の高等学校段階の学力を客観的に把握すること、及び大学における個別学力検査との組合せ等により個性・特色に応じた多様な入学者選抜の実施に資すること
- (2) 新指導要領が必要最低限の知識・技能と教養の幅を確保するという「共通性」と学校の裁量や生徒の選択の幅の拡大という「多様性」のバランスに配慮していることを踏まえ、必履修教科・科目を尊重しつつ、大学進学希望者の学習意欲を含めた学力の育成に資すること

の観点から検討を行ってきた。

大学入試センターでは、平成 25 年 4 月から新指導要領により実施される教科・科目等についても、引き続き上記の観点から検討してきたところであるが、このたび平成 28 年度大学入試センター試験から実施する数学、理科以外の出題教科・科目に関し、現時点における検討状況を中間的に取りまとめ明らかにすることとした。

今後、この中間的な取りまとめに対する意見を関係団体等に求め、それらの意見も踏まえた上で、平成 24 年春ころを目途に一定の結論を得る予定としている。

1 出題教科

新指導要領に対応し、平成25年4月から高等学校等において実施される教科に関し、平成28年度大学入試センター試験からは、数学、理科に加えて、必履修教科のうち、国語、地理歴史、公民及び外国語の4教科を出題の対象とし、それぞれの教科の必履修科目及び選択科目の中から出題する。なお、専門教育を主とする学科における履修科目の出題について、配慮する。

また、必履修教科のうち共通教科「情報」の出題については、さらに、検討することとする。

2 出題科目等

上記の出題教科に関する平成28年度大学入試センター試験の出題科目等については、次のとおりとする。

なお、各出題教科・科目の試験時間及び配点については、現行の大学入試センター試験との継続性も勘案しつつ定めることとし、決定次第、公表することとする。

国 語

出題科目は「国語」1科目とし、「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典（古文、漢文）を出題する。

（説 明）

新指導要領では、6科目（「国語総合」、「国語表現」、「現代文A」、「現代文B」、「古典A」及び「古典B」）が設定され、これらのうち「国語総合」が必履修とされている。このため、「国語総合」1科目を「国語」として出題する。

地理歴史

出題科目は「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」及び「地理B」の6科目とする。

上記の各科目は、それぞれの科目のすべてを出題範囲とする。

（説 明）

新指導要領では、6科目（「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」及び「地理B」）が設定されており、これらのうち、「世界史A」及び「世界史B」のうちから1科目並びに「日本史A」、「日本史B」、「地理A」及び「地理B」のうちから1科目の計2科目が必履修とされている。

このため、すべての科目を出題する。

公 民

出題科目は「現代社会」，「倫理」及び「政治・経済」の3科目とする。

上記の各科目は，それぞれの科目のすべてを出題範囲とする。

(説 明)

新指導要領では，3科目（「現代社会」，「倫理」及び「政治・経済」）が設定されており，これらのうち，「現代社会」1科目，又は「倫理」及び「政治・経済」の2科目のいずれか一方が必履修とされている。

このため，すべての科目を出題する。

なお，平成24年度大学入試センター試験から導入した「倫理，政治・経済」については，さらに検討する。

外国語

出題科目は「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」及び「韓国語」の5科目とする。

「英語」は，「コミュニケーション英語Ⅰ」のすべて，「コミュニケーション英語Ⅱ」のすべて及び「英語表現Ⅰ」のすべてを出題範囲とする。

「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」及び「韓国語」については，「英語」に準ずる。

なお，外国語リスニングについては，「英語」のみ実施する。

(説 明)

新指導要領では，「英語」の場合，7科目（「コミュニケーション英語基礎」，「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」及び「英語会話」）が設定されており，これらのうち「コミュニケーション英語Ⅰ」が必履修とされている。

しかしながら，今回の指導要領においては外国語教育の充実がうたわれており，我が国において外国語教育の重要性がますます増していることにかんがみ，必履修科目である「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とする。

なお，「英語」以外の外国語については，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」及び「韓国語」を英語の出題範囲に準じて出題する。

専門学科に関する科目

専門学科に関する科目の出題については，これまで「工業数理基礎」，「簿記・会計」及び「情報関係基礎」の3科目を出題してきたが，これらの科目の出題について，さらに検討する。

(説 明)

検討に当たっては，これらの科目のうち受験者数が他の教科・科目と比較して極めて少ないものについては，平成28年度大学入試センター試験からの出題について慎重に検討する。